

各位

2023年12月22日
会社名 のむら産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清川悦男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 西澤賢治
(TEL 042-497-6191)

2023年10月期 通期決算補足資料

2023年12月14日に発表いたしました2023年10月期決算について、当社で想定しておりました質問および発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想の内容と当社からの回答について、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜うことを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1 | 今期は人件費増で減益予想ですが、何人ぐらいの増員を見込んでいますか？

A | 今期の人員計画について具体的な公表はしておりませんが、メーカーとしてモノづくりの強化、次世代を支える人材の補強を図っていきたいと考えており、製造部門を中心として10名弱程度の人員増強を考えております。

Q2 | 既存事業の拡大予定のエリアと現在の状況を教えてください。

A | 既存事業においては、西日本への拡大を図るため、顧客開拓など販売面の強化を行うとともに、販売量の増加を支える包装資材の仕入先の開拓を進めております。前期の活動結果が今期の実績となる見込みですが、引き続きの拡大に取り組んでまいります。

Q3 | 為替の影響はどれぐらいあるのでしょうか。また、2024年10月期の業績予想について、想定為替レートはどのくらいでしょうか。

A | 物流梱包資材の仕入価格は為替によって変動いたしますので、円高になりますと利益がプラスとなります。一方、包装資材、包装機械については為替だけではなく、原材料費そのものの価格など様々な要因が関係するため、一概には申し上げられません。なお、包装機械の輸出については、円建てでの販売をしておりますのでほとんど影響がございません。

また、予算策定の前提となる為替レートについては公表しておりませんので具体的な数字は控えさせていただきますが、予算策定期間である9月から10月頃の為替レート及び金融機関等が提供する為替レート予想の情報をもとに業績計画を作成しております。

Q4 | 競合に対しての御社の優位性について教えてください。

A | 当社の一番の強みは、包装資材と包装機械の両方を手掛けていることです。資材と機械の両方を手掛けることでお客様にとっての最適のソリューションを提供することができます。また、機械のメンテナンス、資材の納品時などお客様との接点を多くもつことでニーズの把握が容易となり、足元の販売に貢献するとともに、新商品・製品の開発に活かすことが可能となっております。

Q5 | 新市場の開拓状況について、進捗状況を教えてください。

A | 米以外の新市場につきましては、前期においてはコーヒー豆や大豆等の豆類について機械を受注・納品し、資材の注文もいただきました。今期におきましてもこれまでの実績をもとに横展開を図るべく、販促活動を進めてまいります。また、HP等も充実してきたことにより様々な分野での問い合わせが増えてきました。コロナによる制限の緩和が進み再開された展示会での対面による販促活動と併せ、今後も新しいモノづくり、新たなニーズの開拓に注力してまいります。

導入事例の詳細は下記のリンクにて掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.nomurasangyo.co.jp/product-service/case-study/>

Q6 | 2024年10月期の重点施策の一つとして、「海外向け売上の拡大」とありますが、具体的にどこへの売上拡大をめざしているのか教えてください。

A | 今まではタイへの機械輸出をメインにおこなってまいりました。現在は、タイの近隣のベトナムなど東南アジアの市場調査をおこない、チャネルの探索も続けております。ただ、各国のニーズ、商習慣、法規制にはバラツキがあり、引き続き市場性の確認を慎重に行いながら、中期の戦略検討と実施を行って行きたいと考えております。

以上